

4MINI&スクーター誌ナンバー1

Moto-Champ

# モトチャンプ

PCX / アドレスV125Sと対決!  
新型シグナスXを  
全方位テスト

2スト405ccの規格外マシン!  
3気筒モンスター  
BW'S

LED化やハザード追加の方法を伝授  
ヒカリモノ強化プロジェクト  
個性派カブのスタイルCHECK  
カフェカブミーティング

2016  
JANUARY  
1  
定価400円

Z125 PRO  
日本緊急試乗!

4MINI&スクーターが  
もっと便利にカッコよくなる

# カスタム超入門

買ってソンしない厳選アイテムもまるわかり!

# ORT IN ITALY

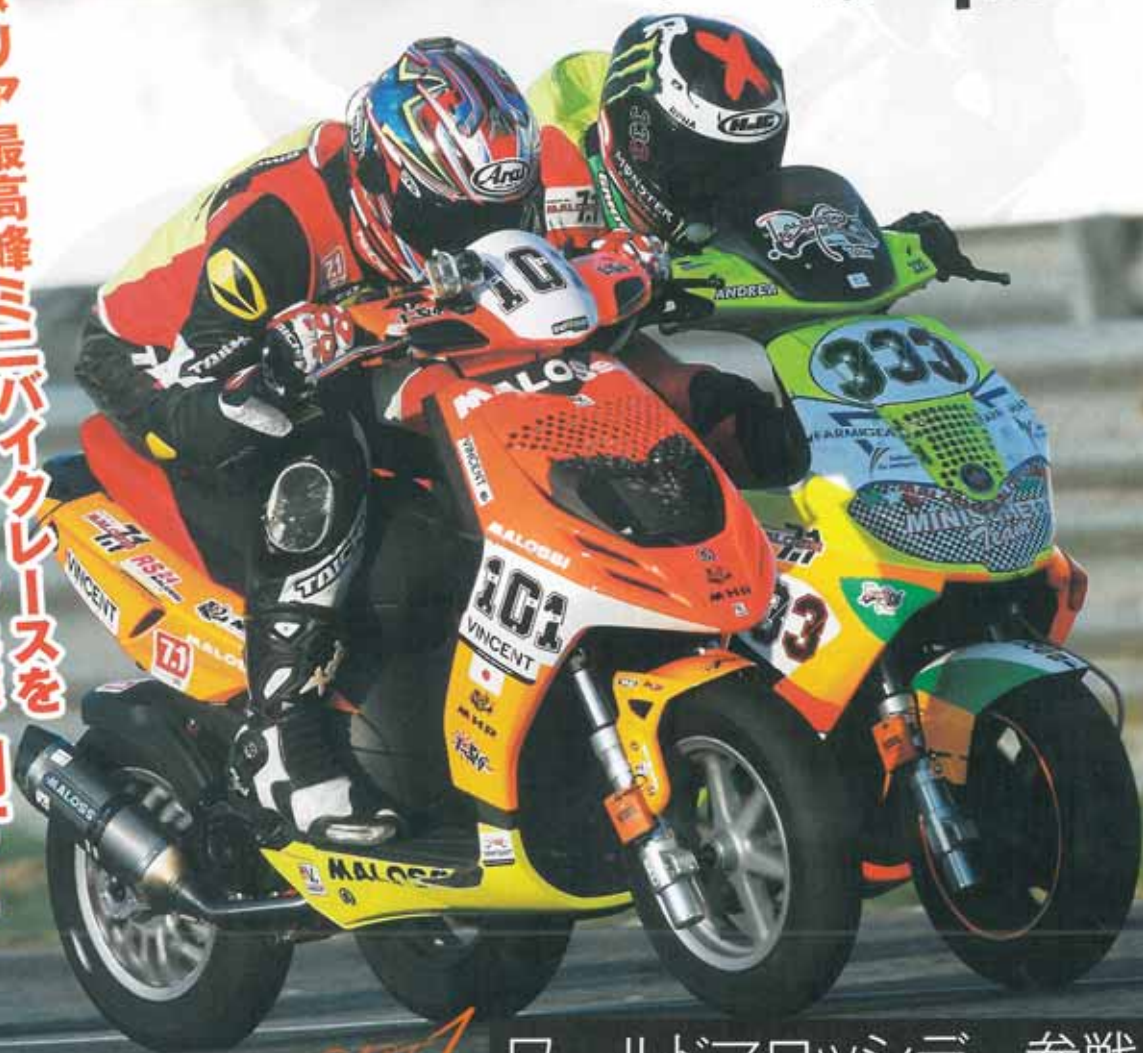


さすらいのワールドミニバイクレーサーことキッシー岸田が、イタリアに旅立った。目指すは、映画「紅の豚」の舞台にもなったアドリア海からほど近い場所に位置する、アドリアインターナショナルレースウェイ。その目的は、イタリアのパーツメーカー、Malossi (マロッシ) 社の主催による年に一度のお祭りレース、「ワールドマロッシデー」に参加すること。昨年はシェイクダウンしたばかりのニューマシンがトラブル続きでまったく走れず苦汁をなめてしまった。さあ、今年はリベンジだ！

REPORT: 岸田年正 PHOTO: 岸田年正 / Malossi / Moto7  
SPECIAL THANKS: Malossi / Race service / Garage Vincent / YAMAHA Italy / Di Lorenzo Nicolai

キッシー岸田の  
ぶらり  
イタリア  
珍道中記

イタリア最高峰ミニバイクレースを  
キッシー岸田が0.01秒差で制す！



## ワールドマロッシデー参戦

今回チャレンジするのは  
4ストのみの新クラス

北と南のシリーズ戦に参加したライダーが一同に集結し、シリーズ最終戦としてイタリア最速の座を競うハイレベルなレースが「ワールドマロッシデー」だ。キッシー岸田がタイプイン125改(4スト218cc)とともに出場するのは、新設された4ストのみのクラス「トロフェオスーパースクーター4ストローク」。昨年は軽量の2ストマシンとの混走クラスだったので厳しい戦いを強いられしたが、今年はマシンも熟成されているだろうし、おもしろいレースができそうだ。そんな思いを胸に抱きながら、日本を飛び立ち、約24時間の長旅を経てサーキットに到着したキッシー。心配だったマシンの仕上がりが、ファーストフィーリングは予想以上に好印象で一安心。20分×4本のプラクティスではトップタイムをマークすることもできた。

1回目の予選はウエット。レインタイヤでの走行となったが、ストリートエンドからのブレーキングでフロントが切れ込みスリップダウン！最高速からの転倒だったため、100m以上滑走する羽目。幸いキッシーには大きなダメージはなかったが、マシンのフロント部分のフィーリングが悪くなってしまった。それでも駆動系と足周りのセットアップを詰めていき、シリーズチャンピオンを争うライダーたちに続いて3位という予選結果をゲット！

勝負所をきっちりと  
押さえて逃げ切り成功！

迎えた決勝1ヒート目は、ドライ

# MINI BIKE REP

熟成が進んだマシンは  
見違える速さを披露!



◀エンジンパーツはマロッシKITにて218cc化。駆動系もフルマロッシで、さらにマロッシ製ダブルコブベルトを使用している。リヤサスペンションはマロッシから販売されているRS24製も装着

◀レギュレーションで許されているタイヤ径は10/12インチで、このマシンは12インチを履く。ドライタイヤ(写真左)はスロベニアのMitag製のワンメイク、レインタイヤ(写真右)はスロベニアのSava製を使用

## PIAGGIO TYPHOON 125

### 2ストスクーターのバトルも熾烈だ!

▶いくつかのクラスが開催されるマロッシデー。中でもイタリア全土から狂者が集まる「TNSVクラス」は、何と30台もの2ストチューニングスクーターによる争いとなった。マロッシ製キットが組み込まれた2スト70ccマシンの最高速は140km/hに到達し、平均時速は100km/hを超えるハイスピードレースなのだ。



総合2位で  
お立ち台へ!



▲マシン製作からレース参戦まですべての準備を行ったのは、ニコラさん。チーム母体はベルギーにあるGarage Vincent. キッシーが1998年にユーロスクーターカップに初めて参戦した時から17年、ずっとタグを組んでいる。マシンを製作した彼自身、昨年のリベンジに燃えていたのだ。

●トップを走る#89ベラルディが2年連続となるTNSVクラスのチャンピオンを獲得。マシン、ライダーともにシリーズで強さを発揮した。チャンピオンを意圖してか、ウェットレースとなった第1ヒート決勝では慎重に走り切っていたのが印象的だった。●最終戦を勝利したのはアツい走りが魅力の#21メローン。昨年、大怪我をしてからの見事な復活劇だ。ウェットでレースでの追い上げ、そこからのぶっちぎった走りはお見事。

▲開催初年度の(トロフェオスーパースクーター4ストローク1)のチャンピオンに輝いたのは、#7マーヴィン。ヒート1が優勝、ヒート2が2位で総合優勝。#101キッシーはヒート1が3位、ヒート2が優勝で、総合2位となった。選手に聞くと、「4ストマシンはウィーク中のマシンランチが2ストに比べてイージーで、いつも安定して走ることができると皆が同じ意見だった。」



コンディション。スタート直後から#333ミニスケッチェイ(ランナー)と#7マーヴィン(タイフーン)、そして#101キッシー(タイフーン)の3台でのバトルが続く。何度かトップに立ったキッシーだが、最終盤になると2台に先行されてしまった。結局、優勝したのは最終ラップの最終コーナー進入でトップに立った#7マーヴィン。キッシーは最終周に仕掛けるのをミスしてしまい、0.2秒差の3位に(悔しー!)。続く2ヒート目も、序盤から1ヒート目と同様の展開が繰り返された。二人のイタリアンによる熾烈なチャンピオン争い。そこに割って入る、スポット参戦のジャポネーゼ(キッシー)。メインストレートからスリッパストリウムを使いトップに浮上したのは#333ミニスケッチェイ。しかし、1コーナー進入で痛恨のスリッパダウン!

これでレースは#101キッシーと#7マーヴィンとの一騎打ちだ。とにかく前に出ようとする#101キッシーに対して、その後ろで様子を伺う#7マーヴィン。二人の真つ向勝負は、いよいよ最終ラップの後半セクションへ。#7マーヴィンはここが勝負所と見たか、#101キッシーをかわして逃げ切りを図る。しかし、#101キッシーはそれを予想しており、得意とする最終コーナー手前の複合コーナーで、ズバツとインを差してトップを奪還。最終コーナーの進入もイン側から抑えたキッシーが、0.01秒という僅差で競り勝ってゴールラインを駆け抜けて、劇的な優勝を飾ったのだ! プラボス!!

レースで好成績を残して上機嫌のキッシー岸田だが、そのご褒美(?)として、マロッシ製パーツによってチューニングが施されたマシンの一気試乗が実現! その完成度の高さにはキッシーも驚いた!!

100km/hからでも楽々ウイリー可能  
これが2スト最強スクーターマシンだ!

## PIAGGIO ZIP SP

### PARTS LIST

- クランクケースセット"RC-ONE" [5716668]
  - シリンダー&ヘッドセット(φ52)"Malossi RC-ONE" [3115883]
  - クランクシャフト(φ12-13)"MHR TEAM" [5314887]
  - インナーローターキット"MHR TEAM" [5515001]
  - 専用チャンバー(φ52)"MHR BIG BORE" [3216158]
  - 駆動系セット [6115780]
  - デルタクラッチ [527880]
  - クラッチアウター [7714147]
  - 1次ギヤ [6711449]
  - 2次ギヤ [679968]
  - ガソリン流量コントロール [6511990B]
  - 燃料ポンプ [5616363]
  - リヤサスペンション RS24 / 10-R [4613081]
  - フロントディスクローター(φ250) [6213297]
  - フロントブレーキパッド [6215008]
- ※ [ ]はマロッシの品番。この他にキャブレター、エアフィルターなどが装着されている。



### IMPRESSION by KISSY

#### パワーはもちろん、 足周りの出来もイイ!

「今もなお、2ストスクーターチューンを推し進めるマロッシから、イタリア最強ベースマシンとなっているピアジオZIP SP用のエンジンキット、RC-ONEシリーズがリリースされた。精度と強度を追求したクランクケースからクランクシャフト、さらにシリンダーやヘッド、ピストンなどで構成され、排気量は93.4ccとなるマロッシ渾身のキットだ。それが組まれたマシンを試乗することができたのだが、まず驚かされたのが1万2500rpm付近でクラッチミートしたマシンが回転を落とさず、驚くほどのトルクでグイグイ加速していくこと。約100km/h付近からでもフロントを軽く持ち上げようとしただけでウイリーするんだ。最高速も140km/h近く出ていた。また、それを支えている足周りの完成度の高さにも驚かされた。剛性感がタップリでキャブ吸収性も素晴らしい。究極の2ストスクーターマシンと言えるんじゃないかな」



### エアロックス用のキットもリリース!



◀ヤマハの2ストスクーター、エアロックス用のRC-ONEキットも登場。そのシェイクダウンテストは、マロッシ社の撮影もあって物々しい雰囲気。ライダーは元マロッシファクトリー所属で現在は「sky SPORTS」というイタリアの番組でMotoGPの解説も行っているサンキーニさん。



▲こちらがRC-ONEが組み込まれたエアロックスのエンジン。マロッシのコンセプトはとにかくパワーを追求すること。その増強されたパワーに対して耐久性も確保するために、設計のみならず全金属素材から厳選することによって、トータルでのハイパフォーマンスを目指しているのだ。

日本未発売のモデルだって  
速攻チューンで過激に変身!

## HONDA FORZA125

### PARTS LIST

- ブーリーキット ■センタースプリング
- クラッチスプリング ■クラッチアウト
- O<sub>2</sub>コントローラー
- フロントブレーキディスク / パッド



### IMPRESSION by KISSY

重量級ボディなのに  
サーキットでも楽しい!

「マロッシでは日本未発売のフォルツァ125用のキットを早くもリリース。この開発のスピーディさは、自社で設計から試作、テストまですべてできてしまうから。主に駆動系チューンがメインのマシンではあるが、マロッシテイスト満載で、アクセルを開けると9500rpmでミート。そのまま回転を落とさずにメーター読みで100km/h付近まで一気に加速していく。決して小柄ではないマシンだけど、ストレスのない軽快な走りが可能になっている。ちなみに車体剛性も良好で、サーキットでも不安なく走ることができたぞ」



## PIAGGIO VESPA GTS super 125 4T

### PARTS LIST

- シリンダー(φ75.5) ■ピストンキット、ヘッド
- カム、コントロールユニット ■ブーリーキット
- トルクカムキット ■O<sub>2</sub>コントロールユニット
- マフラー etc

トルクを活かして  
高速域でも  
グイグイ加速!

「218cc化して駆動系キットも装着されたベスパは、とにかくパワフル! サウンドは凄く静かなのに、4ストのビッグトルクを活かした加速が最高に気持ちいい。特に80km/h付近でハーフアクセルから全開にしたときの高速域での加速感に大満足。こんな風に俊敏性がアップしたベスパもいいね!」

クラシカルな姿からは  
想像もできない俊敏な走り!



### IMPRESSION by KISSY



残念ながら…  
試乗できなかった  
マシンもご紹介!

## KYMCO DOWN TOWN350

ヨーロッパで人気のがキムコのだウンタウン。こちらはφ75.5のシリンダーやピストン、カムといったエンジン系パーツのほか、駆動系まで手がいったフルチューンマシンだ。



## HONDA NSC50

最近イタリアで発売された4スト50ccマシン。90ccに排気量アップされていたほか、ブーリーキット(MALUTIVAR2000)やデルタクラッチなどがおこなわれていた。